

(雑感)

「サダコ像」

(竹の台 島田)

5月に開催した当会の「第17回記念のつどいー被爆ピアノコンサート」では、明石市原爆被害者の会会長の岸本吉弘さんから挨拶を受けた。その中で、「同級生に女の子がいて、小6の時、白血病となり、中学1年になっても一度も学校に行けず、秋に亡くなった。今は広島公園に『像』としてある」との話があった。この女の子は「原爆の子の像」のモデルになった「佐々木禎子^{さだこ}」だと思った。

実は「サダコ」について思い出がある。私が毎年行っているネパールで、「サダコ」との出会いがあった。それは広島出身の日本語学校の先生(私と同年)が20年ほど前からネパールで原爆展を開催し、授業にも原爆の話を取り入れている。この原爆展を見学したとき、「サダコ」の絵本があった。先生が教えた学生が、今では日本語学校の先生



になって、授業で原爆の話をしている方もいる。実際、私がボランティアをしている日本語学校のラビン先生はその方の教え子で、8月6日～9日の間は必ず、学校内で「原爆展示展」と「原爆授業」をしている。そこには「サダコ」の絵本もあるが、それはラビン先生が広島に行って、「サダコの像」を見て感動したからとのこと。私も授業で原爆の話をすることにしているが「母親が私に『原爆が小倉に落ちなくてよかったね』とよく言っていたことをどう思うか」(201809HP 参照)や、「思い出のサダコ」(大倉紀代著)の本を見せながら、「サダコと鶴」の話もしている。

このように私にとって「サダコ」との思い出がある中での今回の岸本さんの話。再度お会いして、サダコの話をもっと聞きたいと思う。

なお、8月4～6日、広島で開催される「被爆80年原水爆禁止2025年世界大会」に参加するので、「サダコ像」と矢川光則さんの「被爆ピアノ資料館」を見学して来ようと思っている。